

事務局対応案
 1. 素案修正
 2. 素案どおり
 3. その他

部会意見
 1. 事務局案を採用する
 2. 事務局案を修正する
 3. その他

項目	委員発言内容	事務局対応案	修正案等	ページ	部会意見
潮流	分権型が都市内分権であることがわかりにくい。	1	【潮流2「自立と協働の時代へ」】で、都市内分権の記述を追加する。	6	
	市民参加やNPOについて、もっと踏み込んだ記載をしたほうがよいのではないか。	1	【潮流2「自立と協働の時代へ」】で、NPOの役割や実績についての記述を追加する。	6	
	生産力の低下や経済の低成長化など、グラフを入れるなど、わかりやすくしたほうがよい。	2	データについては、施策別プランで記述する予定。	6	
	少子化・高齢化が、一般論だけでなく新潟市に落とした場合どうなるのか、市内でも地域によって傾向は異なるのではないか。政策につながるような記載を。数値を入れてもよい。	1	【潮流3「人口減少・少子高齢化」】で、新潟の特徴として、全国平均を下回る出生率などについての記述を追加する。	7	
基本構想	「高次都市機能」はわかりにくい。	2	高次都市機能についての説明は用語集で対応する。 『高次都市機能とは』 都市が持つ様々な機能のうち、高付加価値商業機能、中枢管理機能、国際業務機能、研究開発機能など、その都市の個性を表し、また、その都市だけでなく広域的に効果を波及できるような機能。	11	
	「地域」とは何をさすのか、わからない。	1	地域を以下に定義する。 ○コミュニティ - 小・中学校区単位 ○地区（仮置） - 基本的に旧市町村・地区事務所単位 ○区 - 区単位 ○地域 - 上3つの総称	11 15	
	「地域」は一義的には区を指すとのことであるが、コミュニティのように感じる。	1	”	11 15	
	まちのかたちの概念図はわかりにくい。	1	わかりやすく修正する。	13	
	まちのかたちの概念図で、白い丸が4つであるが、区の数8つにしたほうがわかりやすいのではないか。	1	”	13	
	「生活圏域」とあるが、買い物は都心部に来るなど、普段の生活で実感がないのではないか。交通をよくすればなおのことその傾向が強まる。	1	生活圏域の定義とあわせ、図をわかりやすく修正する。	13	
	生活圏域 = コミュニティというのは無理がある。	1	”	13	
	都市像の施策で、興味をもった施策の詳細が見られるように、対応する施策別プランのページ記載してはどうか。	2	後ほど、編集の中で工夫したい。	-	
	市民アンケートでも高齢者対策を望む声が多。P14に高齢者対策を明確に打ち出すべきではないか。	2	P14の都市像の図は、大きな分野をくくった構成であり、高齢者に関する記述は、P19都市像の説明文の中で記述している。	14 19	
	都市像とは、図では分散しているが、意味合いは近いのではないか。	2	都市像は、他の都市像～にかかる仕組みづくりの位置づけであるので、都市像をはじめとして、各施策と関連する部分が多い。したがって、施策の再掲で対応している。	14	
	都市像の施策の順番は、安全 安心 健やか 快適の順番でもよいのではないか。	2	身体・生命に関する基本的な部分から順に構成している。	14	
	図で、トライアングルが7つあるが、意味がわからない。	1	わかりやすく工夫する。	15	
	「優れたまちの形づくり」と「きれいな環境づくり」はぼやけた表現であり、もう少し変えてほしい。	1	「田園と調和したまちづくり」 「環境重視のまちづくり」に修正する。	16	
	「環日本海諸国」で、日本海という表現は好ましくないのではないか。	1	本市では、「環日本海」を使用している。	17	
「上質な暮らし」の上質をもっとまるやかな表現に。	1	「質の高い暮らしづくりを目指します。」に修正する。	19		
「快適な暮らし」は、記載がぼんやりしており、イメージがわからない。もっと具体的に記載したほうがよい。	1	具体的な例示を説明文に加える。	19		

項目	委員発言内容	事務局 対応案	修正案等	ページ	部会意見
	「快適なくらし」で、地域の歴史・文化を入れてはどうか。生活圏で感じる普段の感覚、時間的に蓄積されているようなものの記載を。	2	P12【まちづくりの理念】の説明に、歴史、文化は本市の優れた財産として記述している。また、P33においても、【個性あるまちなかを活性化する】のなかで、個性ある歴史文化について記述している。	12 33	
	「ライフステージを豊かに」ではなく、「ライフステージにふさわしい・・・」となるのではないか。	1	「ライフステージにふさわしい豊かさをもたらすだけでなく、」に修正する。	20	
基本 計画 総論	人口の想定で、単純推計人口の想定でもよいのではないか。	2	生産人口、税収、効率的な都市経営の観点より、人口の増加は必要と考える。	27	
	人口の観点からも、子どもを産み・育てやすく、女性が働きやすい環境づくりが必要。	1	子育て支援に関する記述を追加する。	27	
	土地利用方針の8つの基本方針と5つの都市像との関連がわからない。都市像にあったほうがわかりやすいのではないか。	2	後ほど、編集の中で工夫したい。 (資料については、後日配布する。)	33	
	P14の5つの都市像が8つの土地利用の基本方針と結びつくような工夫をしてほしい。	2	”	33	
	市域が広がっているのに、「コンパクトなまち」はわかりにくい。	2	P13【目指すまちのかたち】の説明文の中で、「コンパクトのまちづくり」の考えを記述している。また、P34で生活圏の充実についてより詳しく説明している。さらに、編集の際に用語集などで工夫する。 (配布資料あり)	33	
	P34で、「自転車・歩行者にも配慮した」で、「にも」を「に」にしてほしい。新潟は平坦なところが多く、自転車の利用者も多いことから、自転車道の整備をきっちりしてほしい。	1	【交通ネットワークを整備する】の記述内容を修正する。	34	
	新潟は車優先が当たり前になっており、横断歩道で停車しないことや高スピードな運転など、歩行者が危険な目にあうことも多い。	1	”	34	
	新潟交通の電鉄跡地を自転車道に整備すれば、安全な自転車道になる。	2	現時点では、計画に位置づけるのが難しいと考えるが、各論又は実施の段階で議論したい。	34	
	「農業の多面的な機能」は直売所などを指すのではなく、防災や景観などを指すのではないか。	1	P35の文案を別紙修正版のとおり修正する。	35	
	現在の農業は生産性が低く、生産性を高めることは大きな課題であり、農業基盤の整備は景観より上位にくだるのではないか。	1	P35の文案を別紙修正版のとおり修正する。	35	
	この図だけを見てもよくわからない。	1	わかりやすく工夫する。	36	
	7区の記載がないことについて、住民にとって自分の区が文章に入っていないことはよくない。うまく文章化してほしい。	3	検討に時間をいただきたい。	37	
	P38の図で、旧市町の区は地域拠点と生活拠点があるのに、7区は人口も多く区役所もあるのに生活拠点で描かれており、アンバランスな感じを受ける。(地域拠点は区の交流拠点で、生活拠点は生活レベルのサービスを提供する拠点で、地域拠点のほうがより広域的なサービスを提供する)	3	検討に時間をいただきたい。	38	
今後の超高齢社会に対応した、自動車や道路の整備ではなく、高齢者が動きやすい公共交通が必要。莫大な費用がかかるものであり、8年間で実現できないかもしれないが、部分的でも取り組んで欲しい。	1	P18【賑わいの基盤づくり】の説明に、公共交通体系の整備の記述を加える。	18		